# 令和８年度
# 第50回「東南アジア青年の船」事業

**The 50th SSEAYP in 2027**

内閣府 青年国際交流担当室

2026年５月

# 「東南アジア青年の船」事業とは

## 経緯

「東南アジア青年の船」事業（SSEAYP）は、日本と東南アジア諸国連合（以下「ASEAN」という。）の各国との共同声明（1974年）を契機に、日本政府とASEAN各国政府との共同事業として開始したものである。ASEAN各国の積極的な参加と協力の下に、日本国政府（内閣府青年国際交流担当室）が実施している。

## 参加国

1974 インドネシア
日本
マレーシア
フィリピン
シンガポール
タイ
1985 ブルネイ
1996 ベトナム
1998 ラオス
ミャンマー
2000 カンボジア
2026 東ティモール

**1974年1月の当時のASEAN加盟国であるインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール及びタイの各国と日本との共同声明に基づいて始められた**

**1985年からはブルネイ・ダルサラーム、1996年からはベトナム、1998年からはラオス及びミャンマー、2000年からはカンボジアがそれぞれ参加**

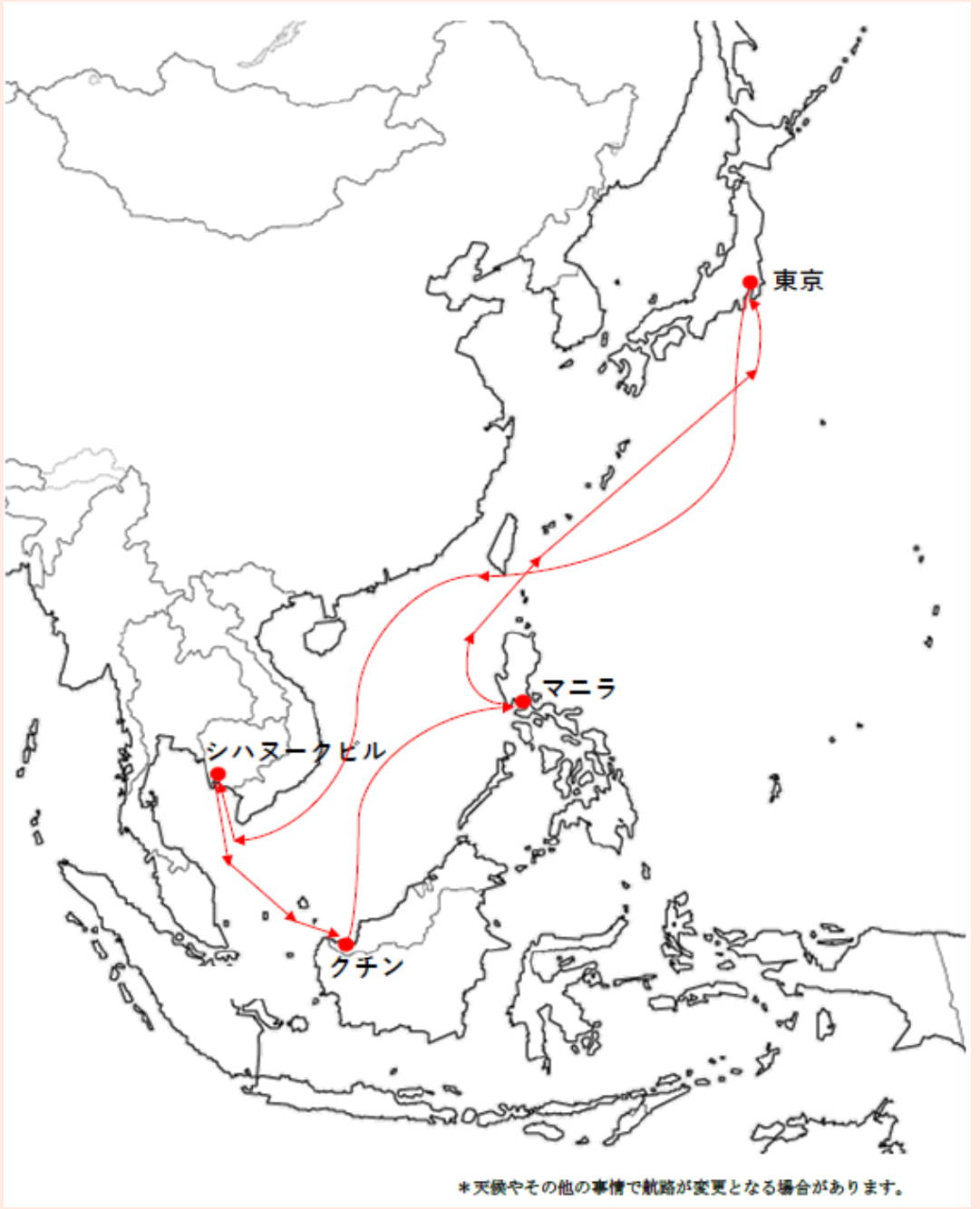
**2026年からは東ティモールが参加**

## 目的

「東南アジア青年の船」事業は、日本及びASEANの青年相互の友好と理解の促進、青年の国際的視野の拡大、国際協調精神のかん養及び国際協力における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる次世代リーダーを育成することを目的としている。

# 令和８年度プログラム日程及び航路（予定）

| | 月　日 | | 事　項 | |
|---|---|---|---|---|
| 第1日 | 1月　3日 | （日） | ASEAN各国ナショナル・リーダー、参加青年、ファシリテーター来日 | |
| 第2日 | 4日 | （月） | 乗船 | |
| 第3日 | 5日 | （火） | 出国手続、出航式、東京出航(16:00) | |
| 第4日 | 6日 | （水） | 航海 1 | |
| 第5日 | 7日 | （木） | 航海 2 | |
| 第6日 | 8日 | （金） | 航海 3 | |
| 第7日 | 9日 | （土） | 航海 4 | |
| 第8日 | 10日 | （日） | 航海 5 | |
| 第9日 | 11日 | （月） | 航海 6 | |
| 第10日 | 12日 | （火） | 航海 7 | |
| 第11日 | 13日 | （水） | 航海 8 | |
| 第12日 | 14日 | （木） | シハヌークビル（カンボジア）入港(08:00) | |
| 第13日 | 15日 | （金） | 寄港地活動 | |
| 第14日 | 16日 | （土） | シハヌークビル（カンボジア）出港(17:00) | |
| 第15日 | 17日 | （日） | 航海 9 | |
| 第16日 | 18日 | （月） | 航海 10 | |
| 第17日 | 19日 | （火） | クチン（マレーシア）入港(08:00) | |
| 第18日 | 20日 | （水） | クチン（マレーシア）出港(17:00) | |
| 第19日 | 21日 | （木） | 航海 11 | |
| 第20日 | 22日 | （金） | 航海 12 | |
| 第21日 | 23日 | （土） | 航海 13 | |
| 第22日 | 24日 | （日） | マニラ(フィリピン）入港(08:00) | 【事後活動組織代表者乗船】 |
| 第23日 | 25日 | （月） | 寄港地活動 | |
| 第24日 | 26日 | （火） | マニラ(フィリピン）出港(17:00) | 【ファシリテーター下船】 |
| 第25日 | 27日 | （水） | 航海 14 | |
| 第26日 | 28日 | （木） | 航海 15 | |
| 第27日 | 29日 | （金） | 航海 16 | |
| 第28日 | 30日 | （土） | 航海 17 | |
| 第29日 | 31日 | （日） | 航海 18 | |
| 第30日 | 2月　1日 | （月） | 東京帰港（11:00） | 【第50回記念レセプション】 |
| 第31日 | 2日 | （火） | 東京プログラム（下船） | 【第50回記念シンポジウム】 |
| 第32日 | 3日 | （水） | 地方プログラム | |
| 第33日 | 4日 | （木） | 東京プログラム | |
| 第34日 | 5日 | （金） | ASEAN参加青年等帰国 | |



# 令和８年度参加国及び各国参加者数

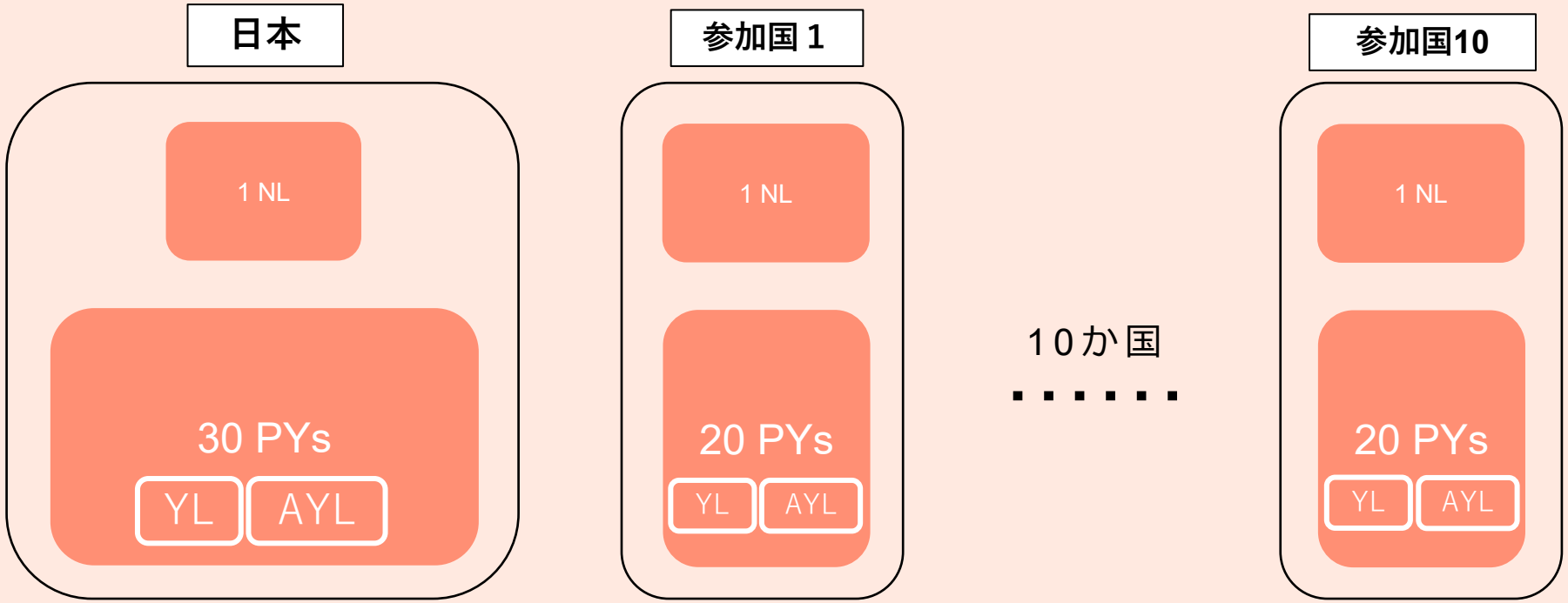
## ■参加国

ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、インドネシア共和国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、
フィリピン共和国、シンガポール共和国、タイ王国、東ティモール民主共和国、ベトナム社会主義共和国及び日本

## ■各国参加者数

・ ASEAN加盟国：ナショナル・リーダー (NL) 1 名、
参加青年 (PY) 20名 (ユース・リーダー (YL) 1 名及び アシスタント・ユース・リーダー (AYL) 1 名含む)

・ 日本：NL 1 名、PY30名（YL 1 名及びAYL 1 名含む）



# 令和８年度参加者総数

■ 参加者総数　　○ NL 11名　　○ PY 230名　　合計：241

| 国名 | NL | PYs | 合計 |
|---|---|---|---|
| ブルネイ・ダルサラーム | 1 | 20 | 21 |
| カンボジア | 1 | 20 | 21 |
| インドネシア | 1 | 20 | 21 |
| ラオス | 1 | 20 | 21 |
| マレーシア | 1 | 20 | 21 |
| フィリピン | 1 | 20 | 21 |
| シンガポール | 1 | 20 | 21 |
| タイ | 1 | 20 | 21 |
| ベトナム | 1 | 20 | 21 |
| 東ティモール | 1 | 20 | 21 |
| 日本 | 1 | 30 | 31 |
| 合計 | 11 | 230 | 241 |

# 令和８年度ディスカッションテーマ

| DG | ディスカッション・テーマ | 実施計画段落番号 | 内容（予定） |
|---|---|---|---|
| 1 | 持続可能な観光 | 1.7 | 日本やASEAN各国における観光の現状と課題を理解し、観光客と観光地が互いに良い影響を与え合い、訪問先の経済、文化、地域社会、環境への悪影響を軽減できるような、持続可能な観光の実現に向けて青年がどのように貢献できるかについて議論する。 |
| 2 | 質の高い教育 | 1.8~1.16 | 日本やASEAN各国における教育の現状と課題について理解したうえで、全ての人が包摂的かつ質の高い教育、そして生涯学習を享受するために青年はどのような貢献ができるかを議論する。 |
| 3 | 経済の強靭化 | 2.1 | パンデミックなどの世界的混乱が原因となる、日本やASEAN各国におけるが直面するであろう経済状況やそれに伴う課題について理解したうえで、青年が経済の発展を促進し、経済的圧迫の解消に貢献するために、どのような重要な役割を果たせるかについて議論する。 |
| 4 | 地球環境と気候変動 | 2.4<br>2.6 | 自国及び日・ASEAN地域の環境事情を把握し、気候変動や生物多様性に関する課題を認識した上で、各地で開発や都市化が進み、持続可能な社会を作るために、青年がどのように貢献できるかについて議論する。 |
| 5 | 防災と復興 | 2.7 | 日本やASEAN各国における災害の現状と課題について理解したうえで、災害を未然に防ぐための予防及び災害後の復興について、政治、社会、教育等の観点から青年がどのように貢献できるかについて議論する。 |
| 6 | 健康と医療 | 2.8 | 日本やASEAN各国における保健・医療の現状と課題について理解したうえで、青年がどのようにして人々の健康な生活を保障し、より良い医療の実現に貢献できるかについて議論する。 |
| 7 | デジタル社会と人工知能（AI） | 2.9 | デジタル技術が使用されている世界各国のベスト・プラクティスや、日本及びASEAN各国の現状や課題を理解した上で、あらゆる分野においてデジタル社会の促進に青年がどのように貢献できるかについて議論する。とりわけ、AIの活用が進む中、AI技術の活用の拡大と労働市場への影響についても議論する。 |
| 8 | 社会福祉と包摂的な社会の実現 | 2.12 | 日本やASEAN各国における社会福祉制度の現状と課題について理解した上で、高齢者、障害者、子どもなど、誰もが役割を持ち、支え合い、安心してその人らしい生活を送ることができる平等な機会が確保される包摂性と多様性の社会を実現するために、青年がどのように貢献できるかについて議論する。 |

ディスカッション・テーマは
日本ＡＳＥＡＮ友好協力に関する
共同ビジョン・ステートメント
２０２３ 実施計画
(2023年12月17日)
を参考に選定

**「日本ＡＳＥＡＮ友好協力に関する共同ビジョン・ステートメント２０２３実施計画（2023年12月17日）」の日本語仮訳は以下のURLをご確認下さい。**

https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&ved=2ahUKEwjp3cD8isKUAxWZZvUHHRLBJIoQFnoECBcQAQ&url=https%3A%2F%2Fwww.mofa.go.jp%2Ffiles%2F100601230.pdf&usg=AOvVaw0FTltu7_FW9deSFm0XYy-w&opi=89978449